

知ってますか「世界三大料理」とは。

ホテル熊本テルサ 土山憲幸総支配人の食文化講座



▲フランス料理の例



▲トルコ料理の例



▲中国料理の例



ホテル熊本テルサ
土山憲幸総支配人

第3回

日本料理を知る前に、外国の料理をある程度、知っておかないといけません。世界には「世界三大料理」があります。これは「フランス料理」「トルコ料理」「中国料理」です。

まず、「フランス料理」について、フランスは日本ほど食材は良くはありませんが、多くの食べられる動物が多く、チーズや牛乳、香辛料などさまざまな調理関係の材料が揃っています。そのためフランスはソースの文化が発達し、ソースでおいしいものを食べさせるということで発達してきました。

「トルコ料理」について、トルコは昔、世界を征服しにいったオスマン帝国でした。そのため世界中の食材と調味料を自国に持ち帰り、「トルコ料理」を生み出しました。世界中に知られている料理がたくさんあります。

「中国料理」は、広東料理、四川料理、上海料理、北京料理と気候風土によって大きく4つに分かれます。しかし、作り方は多くは一緒です。丸いフライパンとお玉が一つ、その中に食材を入れかき混ぜ、スープなどを入れて味付けをします。人口が多いため早く多い量を作らなければならぬというのがあります。

日本にはトルコ料理を食べられるところはないのですが、フランス料理や中国料理など多くの国の料理が入ってきています。日本ほど世界中の料理が食べられる国はほかにありません。

故郷の伝統芸能を後世へ

ふるふる訪問



火の国悠久の会

熊本の無形民俗文化財（伝統芸能）を守り育て後世に伝える火の国悠久の会（事務局・熊本市南区近見4丁目）。同会は、平成19年1月に設立。昨年、創立5周年を記念した書籍も発刊した。

单身赴任者中心に情報交換会

ふるふる訪問



肥後二水会

单身赴任者を中心とした交流会の肥後二水会。同会は1999（平成11）年3月に発足。今年で14年目を迎える。現在の会員数は25人。会則や年会費などがなく気楽な会として、年に4、5回開催している。

コミュニケーション講座

魅力ある人間力アップに向けて(第21回)

人は、ひとりでは生きて行けません。さまざまな形で支えあって生きています。それぞれが持つエネルギーを見守り、引き出す。コミュニケーションは、人と人をつなぐ原点ともいえます。家庭、職場、近所付き合い、友人との付き合い、その全てがコミュニケーションであり、人生を楽しむこと、エネルギーアップにもつながります。ここではさまざまなコミュニケーションのとり方についてアドバイスします。

今月のテーマ

「脅迫」

コミュニケーションアドバイザー 津川 育子

「金を払わないと息子がどうなっても知らないぞ」

サスペンスドラマなんかでありがちな台詞ですが、皆さんこのような台詞を何と呼ぶかご存知ですか？誘拐事件などでよく登場する言葉ですが、相手から脅かされるために立場的優位にある存在が口にする言葉、「脅迫」です。

突然一体何の話だと思われたかもしれませんが、今回はこの「脅迫」についてのお話をします。

親と子の関係の中で、「脅迫」などという物騒な言葉が使われること自体おかしいと思われる方も多いかも知れません。しかし、親子の間で、実はこの「脅迫」は、とてもよく使用されているのです。

「勉強しないと大学に合格しないよ」

「お母さんの言う事を聞かないと、地獄に落とされちゃうよ」

「いい子にしないと、悪い鬼さんに食べられちゃうよ」

完全に一致してはいなくとも、「しなれば、〇〇ない」という言葉を使っている事がある方は多いのではないのでしょうか。私自身も、子ども達に、何度もこの「脅迫」を使ってしまった経験があります。親の権威を使い、子どもを従わせようとする行為。これも立派な「脅迫」なのです。

この「脅迫」を多用し、子どもとコミュニケーションを取っていれば、いつしか子どもの中には「防衛心」や



「反感」が育つと言われています。そして、子どもがそれに慣れて育つと、私達親が相談してほしい時（結婚や就職、進学など人生の転機）に、子どもは「どうせこう言ったら、こう返されるに決まっている」と、親のパターンを悟ってしまい、本当に相談して欲しい時に、何も言わずに、自分一人で決断してしまう、ということもあり得るのです。

忙しい時、静かにしなければならぬ時、わがままばかり言う子どもを黙らせなければ、親はこの「脅迫」を使ってしまう。相手から言葉を使ってしまう。相手が幼い子どもであればあるほど、この「脅迫」は強烈に胸に響きます。その時は、静かになつてくれ、素直に言う事を聞いてくれて、ホッとすることもありませんが、これが、年を重ねるにつれて、本当に話して欲しい言葉さえ、彼らから出て来なくなってしまう可能性があることを、忘れないで下さい。

それを忘れて、「脅迫」を使い過ぎると、いずれ、子どもが貴女を見限ってしまうですよ!!!

これも立派な「脅迫」ですね。「脅迫」という言葉が、どれほど人に恐怖や不安を与えてしまうのか、よく分かるでしょう。

（筆者プロフィール）コミュニケーションアドバイザー。大学卒業後、ニチイ学館、近代経営研究所などの勤務を経て、平成10年10月人財育成サポートを設立。22年2月に法人化。子育て、親子のコミュニケーションの勉強会、講座を随時開催。熊本県民力レックス主催講座やサテライト教室子育て応援講座などの講師も多数。美里町教育委員。子どもは3人。著書として「愛の小箱」(夫の闘病と家族模様)がある。

【問い合わせ】
☎096-342-9733
tsugawa@jinzai-ikusei.jp

西島 正浩さん
八代インターゴルフ練習場 支配人
(八代市川田町西)

国道3号沿いの佐川急便八代店西隣の店舗を1月に改装オープン。打席を44席から27席に減らしてスペースにゆとりのある設計にしました。料金は打ち放題900円、1時間500円と低く設定していますので、気軽にご利用いただきたいですね。

元気発信!

酒井 里美さん(45)
日本NLP総合研究所 セミナー運営執行責任者
(福岡市博多区)

NLP・コミュニケーション心理学の理論やスキルを基礎から体系的に学ぶ講座を定期的に通講しています。熊本で開講する「NLP認定コース」は年3回6コースを実施し、次回は7月開講を予定。シンプルかつ分かりやすい講座で多くの皆さまのスキルアップを応援したいですね。

元気発信!

小山 淡花子さん
画廊喫茶三点鐘 代表
(熊本市中央区手取本町)

今年開店25周年を迎え、3月には県内55人の作家の作品を展示した「春の企画展」を開きました。単に絵画のみを展示するのではなく、社会を反映した展示がモットーの企画展、地域密着の企画展を実践。店舗運営を通じて熊本の文化発展に寄与し、社会に貢献していきたいです。

元気発信!

中村 健一さん(52)
日本たばこ産業 熊本支店長
(熊本市中央区千葉城町)

昨年11月、「MILD SEVEN」のパッケージを刷新し、今年2月からは名称を「MEVIUS(メビウス)」に変更。今後も付加価値のある商品の提供や、たばこを吸う人吸わない人の両者が心地よく過ごせる環境を整備することなど、協調ある共存社会の実現を目指します。

元気発信!